

令和5年度 第2回狭山市立博物館協議会 会議録

開催日時 令和5年11月17日(金)  
午後3時00分から午後4時45分まで

開催場所 狭山市立博物館研修講義室

出席者 濱田会長、宮本副会長、安達委員、北村委員、小泉委員、小峰委員、齋藤委員、  
千田委員、土屋委員、横山委員

事務局 内藤生涯学習部長、石井社会教育課長、中津主事補  
尾澤博物館長、奥富博物館副館長、アクティオ(株)入佐担当、  
東急コミュニティー渡辺担当

傍聴者数 0名

※協議会前に委員に辞令の交付と正副会長の選出を行った。

議 題

1 令和5年度事業報告・事業計画について

会議資料に基づき、令和5年度に実施及び予定している企画展・主催事業について博物館長より説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑等

委 員 自身が小学生対象の講義を実施した経験から、漢字や文章量等の配慮がとても重要になることを学んだ。貴館も苦勞されたのではないか。

館 長 キャプション等の作成時には、文字の大きさや色合い、フォント等においてユニバーサルデザインの視点を取り入れるよう工夫をしています。

委 員 冬期企画展について、収蔵品の展示のみでは「日本美術」というテーマを網羅することは難しく、工夫が必要であると思われるがいかか。

館 長 今回は「はじめての日本美術」というテーマで、美術に馴染みがない方にも理解が深まるよう、収蔵品を活用し、工夫を凝らした展示を考えています。

会 長 給食展の図録について、市内の学校に配布する予定はあるか。

館 長 企画展終了後、無償で配布する予定です。

委 員 早い段階で配布し、集客に繋げるのが良いのではないか。

委員 ベビーカーツアーとは何か。

館長 普段博物館に訪れる機会の少ない子育て世代を対象に、学芸員が解説を行いながら、ベビーカーのまま展示を鑑賞することの出来るプログラムです。

## 2 令和6年度事業計画（案）について

会議資料に基づき、令和6年度に予定している企画展・主催事業について博物館長より説明し、質疑応答の後、承認された。

### 質疑等

委員 若年層向けに魅力のある企画展について、学生は特にアニメや声優、ゲームに関心度が高いと感じる。歴史や美術に関連するアニメやゲームもあるため、企画展の題材にするのも良いのではないかと。

委員 夏期企画展について、「入間川に棲む魚たち」のコーナーを設置することによって、入間川で過去に川漁が行われていたという点に着目し、漁で使用された道具等を展示するのも良いのではないかと。

委員 常設展示について、開館当初から変化が無いと、展示内容を刷新してはどうか。

館長 所管課と指定管理者が連携を図り、検討してまいります。

委員 工作教室の内容等はYouTubeで紹介しているか。

館長 していません。ホームページにある学芸員ブログや企画展のチラシ、館内掲示等で紹介しています。

委員 YouTube等のSNSを活用することで、より広く情報を発信することが出来るのではないかと。

委員 常設展について、展示品に実際に触れ、五感を使って学べる展示が出来たら良いのではないかと。また、学校の空き教室等を利用し、博物館の収蔵品を展示する移動博物館のような事業はあるか。

館長 常設展の展示方法については来年度の参考にいたします。また、移動博物館は現在行っていませんが、可能であれば学芸員が学校に出向き、講義を行いたいと思います。

副会長 小学生や親子連れを対象とした企画展以外であっても、チラシを全校配布することで保護者や家族が興味を持つ効果が期待できるのではないかと。

委員 駐車場の収容台数は何台か。

館長 100 台です。博物館に隣接している駐車場は県営狭山稲荷山公園の駐車場であるため、催し物等がある際は公共交通機関のご利用を案内しています。

委員 子育て世代は特に車の利用が多いため、駐車場の確保は必要だと思われる。